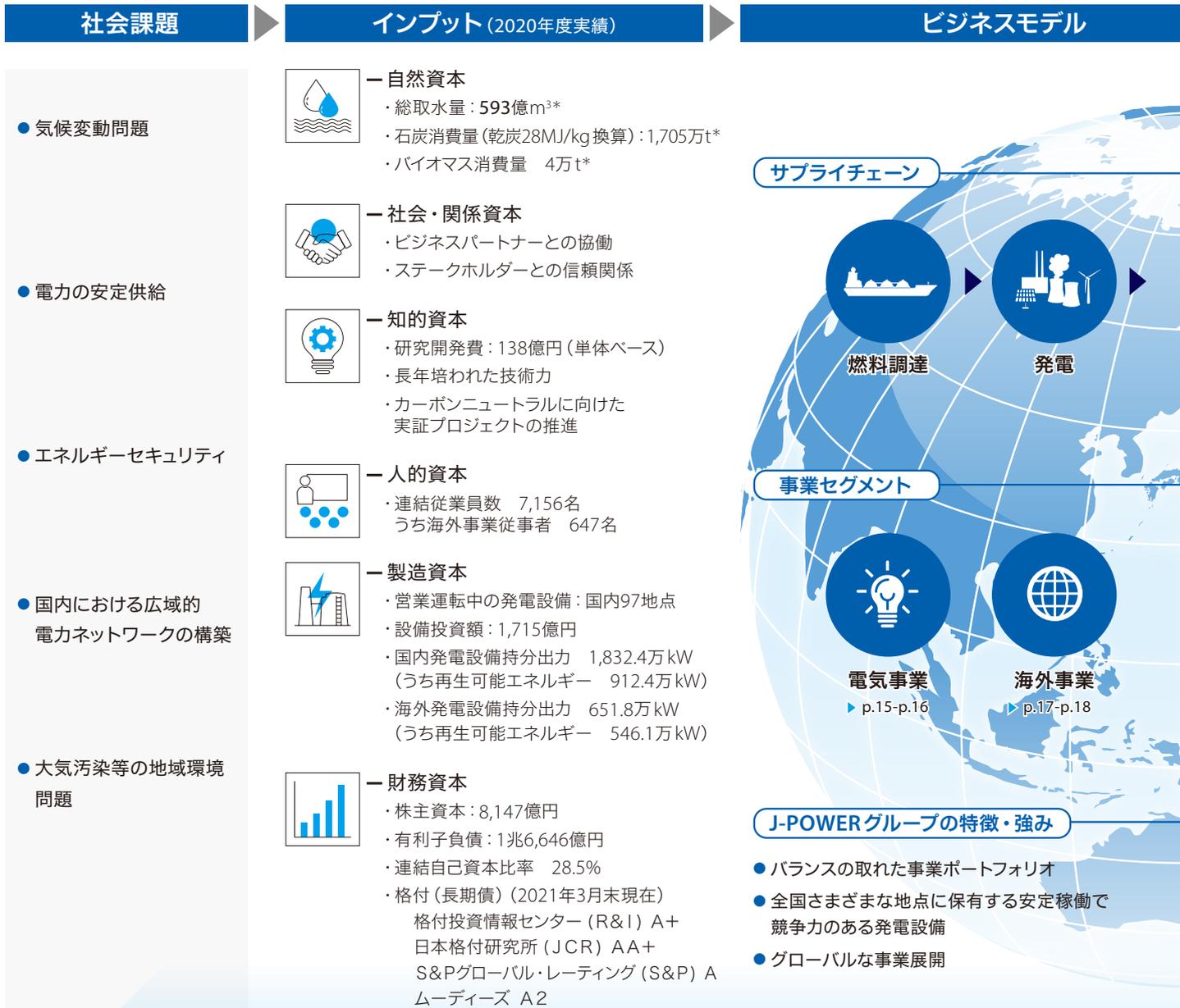


J-POWERグループの価値創造プロセス

J-POWERグループは、「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念のもと、これまで国内外での発電事業で培ってきた技術力、組織力、地域社会やビジネスパートナーとの信頼関係などを強みに、エネルギーの安定供給と気候変動問題対応の両立という使命を果たすとともに、社会課題の解決に資する価値を社会全体と共有することで、SDGsに貢献していきます。

J-POWERグループの使命

人々の求めるエネルギーを不断に提供し、



企業価値を支える基盤

貢献するSDGsの目標

▶ p.11



さらなる成長のための戦略



▶ p.22-p.29

日本と世界の持続可能な発展に貢献する



中期経営計画 (2021年4月策定) ▶ p.30-p.39

アウトプット

アウトカム



- 風力などの再生可能エネルギー電源の豊富な開発実績・ノウハウ
- 石炭を利用したCO₂フリー水素エネルギー技術開発
- 日本の広域的電力ネットワークの一部を担う地域間連系線設備・周波数変換設備の保有

連結売上高
9,091億円

連結経常利益
609億円

セグメント情報

■ 電気事業
売上高 7,334億円
セグメント利益 190億円
国内販売電力量 745億kWh

■ 電力周辺関連事業
売上高 3,741億円
セグメント利益 122億円

■ 海外事業
売上高 1,380億円
セグメント利益 308億円
海外販売電力量 110億kWh

■ その他の事業
売上高 184億円
セグメント利益 10億円



一 自然資本

- ・温室効果ガス排出量 (Scope1+2+3計) 6,488万 t-CO₂
 - ・維持流量による河川環境の保全
 - ・環境技術の高い電源による地域環境問題への対応
 - ・SO_x 排出量 1.1万t*
 - ・NO_x 排出量 2.4万t*
- 】(コーポレート目標達成)



一 社会・関係資本

- ・生活基盤を支える電力の提供
- ・地域社会の経済発展・活性化への貢献
- ・持続可能なサプライチェーンの構築
- ・石炭などの原材料確保、エネルギーリサイクルへの貢献など



一 知的資本

- ・化石電源のゼロエミッション化に向けた技術開発による持続可能な社会への貢献
- ・環境技術の高い電源による地域環境問題への対応



一 人的資本

- ・安全かつ健康で働き甲斐のある職場環境の提供
- ・ライフスタイルにあった働き方の実現
- ・出産休暇取得者数 男性90名、女性18名
- ・育児休業取得者数 男性60名、女性39名
- など
- ・能力・労働生産性向上の機会提供



一 製造資本

- ・低廉で安定的な電力を供給できる設備
- ・新規運転開始地点 3地点 (96.7万 kW 増)
- ・国内の広域的電力ネットワークの構築に寄与
- ・設備健全性の確保



一 財務資本

- ・安定的・継続的な株主還元
- ・連結配当性向 61.6%

▶ p.40 - p.69

*環境関連データについては、J-POWERおよび電気事業・電力周辺関連事業等の国内連結子会社26社のデータです。連結子会社分はJ-POWER出資比率相当分を集計しています